

裏世界を知ると 本質が見えてきて楽しい！！

★ 金持ちを貧乏人にしても、貧乏人を金持ちには出来ない(サッチャー元英国首相)

2007年12月1日(土)

国士館・東芝研究交流会 特別講演

国士館大学 法学部

斎藤 俊彦

第1部 中国編

(シンセン市の招待を受けて)

— 私が初めて知った実態！！ —

胡錦濤は軍部を掌握し切れていない

- 胡錦濤が江沢民およびその一派を追い詰めて権限を手中にしたものの、胡錦濤は未だに軍部を掌握し切れていないので、江沢民を恐れている(6割が未だに江沢民を支持)。
- 上海には江沢民政権のときにNO. 9まで政治の中枢に引き上げたので、NO. 10以下しか残っていない。上海でやりたい放題のNO. 10を幽閉(高級ホテルをあてがう形)。

中国は連邦制なので何でも出来る！

- 例えば国家が年率10%に抑える経済成長率を通達しても、①成長率競争で手柄を立てたい。②全てを統計把握できない未熟さ。等に起因して、2～5ポイントのうわぶれ誤差となる！！
- 農民戸籍と都市戸籍を厳格に区別してワーカーを使うことを巧みにやっている。大学院以上の学歴（現在は4年制大学以上）を有する者は戸籍を移せる。住所変更も可能。

中国国内格差の現状

- 全人口の1割が年収1000万円以上。
その内の2割が年収1億円以上。
さらにその内の2割が月収1億円以上！！
- 農村部は年収数万円～20万円
- 北京、上海、シンセンの大学卒の初任給は
大体3万円程度。
- ★中国の都市開発やインフラ整備、国家事業
等は、大量の農民工の安い労働力に依存。

—
★毎年36000人の死者が出る暴動を鎮圧！

中国上層部エリートも恐れる将来

- 中国共産党幹部の子息は大半が米国籍かカナダ籍を所有。 → 多額の送金(利権)
- 一人っ子政策の代が40歳代に近づいている。① 太子族は何不自由なく欲しい物は全て与えられて成長。② 兄弟喧嘩や兄弟愛・いたわりの心を知らぬ自分勝手な人間が社会問題視されている(日本を見る目にも影響大)。★米国で複数生み、一人を帰国させたり、金銭での二人目許可子息も存在!
- 根底に拝金主義を正当化、美化する素地。
- ★共産党下での市場経済(自由主義経済?)が、随所で矛盾を引き起こしている。

名目上の一人っ子?!?

●中国内での第2子、第3子もいる!!

- ・共産党幹部やその親族、富裕層(大学卒の都市部の月給に相当する数万円で生存)。
- ・農村部でも闇で第2子が存在している(実態不明)。

★法治国家の体裁はなしているがいとも簡単に法律が変わることと相俟って、いつ現体制が変貌するか分からないので、兎に角資産を増やしておこう(しかも安全な資産で)と言った危機感が根底にあるようだ(特に上層部)。

中国共産党のジレンマ

- 国内暴動のガス抜きを日本に向けにくくなったこと(①WTOに加盟したことや、②日本の環境・省エネ技術供与の嘆願、③日本とインドの経済的接近等。★共産党の懐に20%入る美味しいODAは欲しい)。
- 模倣製品で生活している人口も多く、これを取り締まると共産党に矛先が向かう！！
- ★ルールを守らない中国！！(米国海軍は中国をBad studentと言っている。)
- 都市開発で、強制立ち退きさせて別の場所の高層アパートに住まわせるも、職は無し。

中国の大学のミッション

●私立大学もあるが、大半は国立大学

- ①国家に貢献すること。
- ②国防システムを構築すること(先端技術)。
- ③地域経済活性化に貢献すること。
- ④優秀な人材を育成・輩出すること。

★米国UCLAが各地にあるように、北京大学や精華大学、ハルピン工科大学他、多くの有名大学が各地にある。各都市が競って大学を誘致。拝金主義の国ゆえ、日本の産学官連携(起業)の比ではない！！

中国シンセン市の本音??

- 経済特区指定時の人口25万人から、現在は公称1200万人(実際は1400万人位いるが正確には把握できていないと当局自身の話)。
 - 生活安全・衛生・防災等のインフラが追いつかない。環境・省エネ(エネルギー効率は日本の1/8から1/10)分野は日本のノウハウが欲しい。
 - 中央政府の役人が派遣されて来ても何も役に立たない。中央政府の言うことは聞く必要ない。独自に各国とビジネスをやりたい。
- ★市長が直接外国政府要人と会見して取り纏めてくる(貿易局あり)!!**

シンセン市の若いエリート官僚の独り言？ 酒飲みながら数人がこっそり良くぞここまで…

- 中国は日本をガス抜きの対象としながら技術を吸い取り、国力増強を目指している。
- 憲法に“愛国心”が詠われていないこと、国益を考慮したメディアが少ないことは、中国にとって幸いしている。外交上もやりやすい(靖国や教科書の件で内政干渉しても反発せず、日本のメディアはむしろ応援さえしてくれる)。
- 国を強く豊かにするには国内的には愛国心、格差、対外的には軍事力、外交力である。

酒飲みながら数人がこっそり
良くぞここまで……。 (つづき)

- ビジネスの経済基盤の上部の方は日本を凌駕する程のシステムを構築しているが、これらを支える下部の方のビジネス基盤は裾野も狭く機能しないシステムが多く貧弱(ex. 物流)。
- インドの台頭は脅威(日本のインド シフト)。
- ★ 温家宝がビジネスマン百数十人を引き連れて日本に来たときに合わせて、インド艦隊を横須賀に呼ぶしたたかさは、安部首相の外交手腕力も凄い
- ★ インドは民主主義の国なので、経済特区の整備・進展にはかなりの時間を要するだろう。

インドも中国を追い掛ける状況

- IIT 出身の頭脳エリートと農民層の格差
 - ・ 英語を喋る人的資源が米国の雇用に影響。
- カースト制の格差を凌駕（スズキ層あり！）
- 古来よりの大量殺戮、生き埋め、近年では文化大革命での1800万人の粛清等々の歴史！！ 中国では無断使用や模倣に罪悪感は無のDNAを引き継いでいるが、インド人は罪悪感を有して模倣。

★インド人の中国観:

- ① フランス同様極めて強い国益優先主義
- ② 近年のフランス同様戦争に勝った事がない
- ③ 仏の独封込めと中国の日本封込めの類似
- ④ えげつなく狡猾な国（仏・中国は仲が良い）

★でも世界で嫌われているのはユダヤと日本

中国の日本に対する深刻なジレンマ

- 第2次世界大戦中における米国の機密文書が漸次公開されるに従って史実が明らかになることは、中国にとって極めて不都合！！
(マッカーサーの議会証言や誘導戦争等々)
- 中国はPower, Forceの外交戦略(世界共通)。日本はCapabikity(一步引き下がり相手の依頼に対応)の力の外交だが、小泉、安部と、不備に気が付き中国式を推進し始めた(海外メディアは好感)。日本のマスコミは敗戦利得(日本を叩く事で成立)者集団ゆえ無報道にて中国擁護(何時まで持つか不安！)

裏の裏！！

- 北朝鮮がスーパーシートを作れるはずがない。
- 中国は北朝鮮を属国とみなしている(中国が牛耳る経済)が政治的に北朝鮮を制御できない理由。
- 中国の銀行が、金融制裁解除のマカオの銀行から北朝鮮への送金仲介を嫌がった理由。
- 米国の格差社会、実力社会に暴動が起きない。この同様な手法を中国が採ることができない理由。
- バージニア工科大学で銃乱射事件があった翌日のWebサイトには中国、韓国から一斉に「あのような残虐なことをするのは日本人しかいない」→犯人が特定されると「皆さんはこの事件をどう捉えますか？ 日本人はもっと多くの虐殺をしている」と。

裏の裏！！（つづき）

- 徹底的に日本を嫌う教育（歴史事実を歪曲！！）。
- 中国では華国鋒の時代の教科書が、小学校から大学まで日本を徹底的に嫌う内容（事実を歪曲）。江沢民が一時期復活させた。現共産党幹部もこの教育で叩き込まれているので、根底は日本嫌い。
- 国益優先、軍事力、徹底的に相手の弱みに付け込む外交戦略が強い国を造る！！（中国、北朝鮮。韓国スタンス：韓国は将来北朝鮮と一緒にになったときには核保有国のステイタスが得られる。
- ★ 戦略カードの保有だけでは無力。実際にカードが切れるパワーの保有が必須。
- 中国をWTOに加盟させたのは早すぎた！！ その実、裏では米国も元高は困ると言うのが本音！

「参考」 党内序列について

一番偉いのは「総書記」。現在の総書記は胡錦濤。「主席」「国家主席」とも言う。

その下が中央政治局と中央政治局常務委員会。中央政治局常務委員会は胡錦濤を含む9人で構成され、その偉い順（実際の偉い順を決定するのは難しい。党内の序列）は次の通り（5番目は実質No.2）。

「参考」 党内序列について(つづき)

(2007年度の全人代での入替え前の状況)

1 胡錦濤

2 呉邦国(ごほうこく、国務院副総理、全人代委員長)

3 温家宝(おんかほう、国務院総理)

4 賈慶林(かけいりん、全国人民政治協商会議主席)

5 曾慶紅(そうけいこう、国家副主席)

6 黄菊(こうぎく、国務院第一副総理)

7 呉官正(ごかんせい)

8 李長春(りちょうしゅん)

9 羅幹(らかん)





第2部 米国編

(ハーバード大学MBA, AMP、
MIT、UCON,
UTC Power社 を訪問して)

— 私が初めて知った実態！！ —

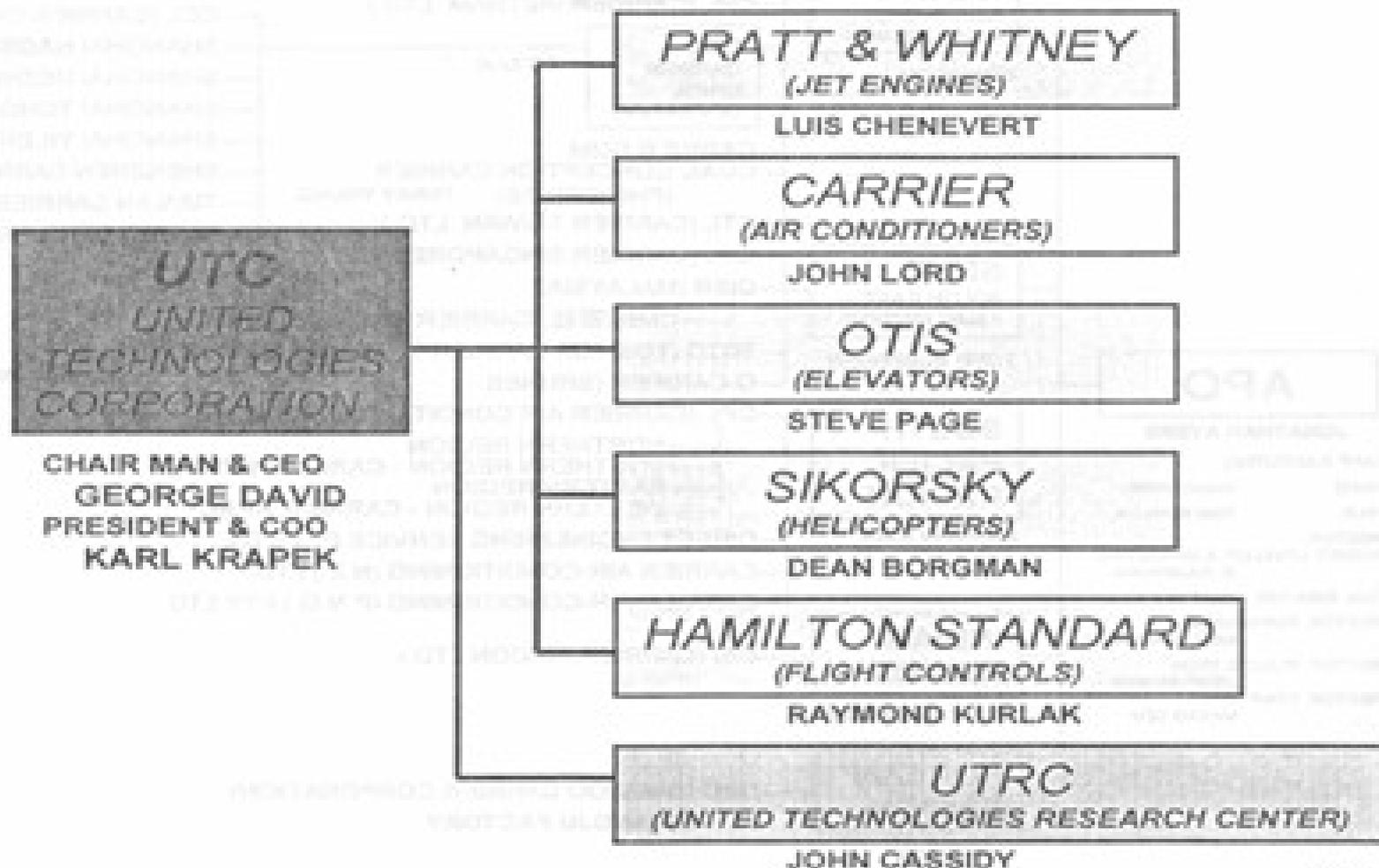
順不同に記憶のままに羅列

- 世界人口の15%を占めるイスラム諸国とのビジネスには、イスラム法に則ったMBAを習得する必要あり。イスラム圏に専門大学あり。
- 企業同様、大学にも黒人枠あり。
- 会社には黒人会(会社が支援)あり。
- 東海岸では未だにWASP優位の会社多し。
- タウン税を高くすれば黒人は入ってこない。
- ヒスパニックには一切温情なし。
- 米国の平均所得の順は①インド人、②中国人③ユダヤ人。

順不同に記憶のままに羅列(つづき)

- 格差社会で暴動が起きないのは寄付社会のため(日本の国家予算の約半分が寄付で集まる)。企業人には寄付が義務付けられている！！
- カジノ経営はインディアンに既得権益を与えている。
- バカンスの休暇は金で買う！！
- 人材育成、「一日社長業」をビット購入！！
- 大半の黒人が太っているのは貧しいから(ジャンクフード)。

国際化戦略(米国UTC Grの例) ー グローバル・コンペティション ー



UTC Powerは株式会社でなくLLCの形態を採用(研究開発オリエンテッド)

- 技術者1200名中半数がPh.D取得者
- 世界中のあらゆる自動車メーカーとPJを推進
- 軍用、宇宙用は凄いの一語に尽きる。こんなことまでやっているのかと！！ ほとんど文字通り“金”で製造されていた！！
- あらゆるタイプの燃料電池を製造している。PEM(固体高分子型)の量産ライン(自動化)を有していたのには仰天！！
- 燃料電池車のドライブを副社長と堪能。

★米国製造技術や発想の底力には驚嘆！！

ご清聴有難うございました。

気楽に酒の肴にでもして下さい。何かのお役に立てれば幸甚です。

